

1902
2010
2/1

府職の友

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／平井 賢治 編集人／小山 智美
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

2月府議会に向けた
府政問題学習交流会
2月16日(火)PM6:45～
いきいきエイジングセンター
エイジングホール
(地下鉄南森町駅、JR大阪天満宮駅より南へ徒歩約8分)



職場からの怒りの声をぶつける室長交渉

妊娠 子育て

いのち、子どもを守る たたかいに共感の声

府当局が昨年12月21日に行った「特別休暇・特殊勤務手当の見直し」提案は、職員・教職員の切実な要求である勤務時間短縮には触れず、これまで労使で築いてきた到達点を一方的に反故にするとともに、母性保護や子育て支援の制度を大改悪し、人問らしく働く権利を奪うものでした。
今回の提案に対し、職場から不安と怒りの声が爆発し、3万4千筆の署名が集約されました。また改悪提案の撤回を求める要請を府民団体や全国の民間労働者をはじめ、自治体労働者・教職員に行つ中で、府職員だけでなく、働く全ての労働者にかかわる重大な問題だと共感が広がり、府民や全国の働く仲間との共同したたたかいは大きく広がりました。

全国から支援受け 大きく広がった運動

全国からの支援を背景に、切実な職場実態や怒りの声を当局にぶつけ、提案の撤回を強く迫るとともに、全職場集会・職場決議、全職員・教職員署名、怒りの一言、早朝門前宣伝、駅頭宣伝、学習意思統一集会、決起集会など、かつてない取り組みを展開。とりわけ、1月24日に緊急に行った「特別休暇改悪提案に怒るパパ・ママ緊急大集合」は、150名の参加で、たたかう決意をいっそ

広がった府労組連のたたかい

- ◆全職員署名 33,996名
- ◆職場決議 1,150職場
- ◆1,200を超える知事あて抗議要請
- ◆1,000を超える「怒りの声」など
- ◆800名の府民決起集会
- ◆150名のパパ・ママ緊急大集合
- ◆会場を埋め尽くした最終日の決起集会

う固め合う集会となりまして。今回のたたかいは、当局のかたくなな態度を押し返して生理休暇・妊娠障害休暇を特別休暇として存続させ、夏期休暇日数の削減を許さず、実質拘束時間の短縮につながる勤務時間の15分短縮の方向性を明らかにさせ、さらには09年府人勤による月例給・住居手当(持ち家)の引き下げを4月以後も実施しないことなどの回答を引き出しました。

しかし、長年の労使協定と双方の合意によって築いてきた特別休暇、特勤手当について、その個別の意義や必要性の検証をおこなうことなく、「国基準」など新たに持ち込んだ一方的な基準で見直すという点において、改悪の根本的性格は何ら変わっていません。

府職労は、時短の早期実現に向け、引き続き折衝・交渉を行います。保育休暇廃止の撤回を求めることも、流産や特別産前産後休暇を病欠休暇に改悪したことに伴い、賃金面でのペナルティ、取得手続き上の不利益をなくす方向での府府、対人事委員会へのとりくみをすすめます。

団体交渉での主な到達点

- 《特別休暇》
- ◎生理休暇…1回2日以内とし、現行どおり特別休暇
- ◎妊娠障害休暇…現行どおり特別休暇
- ◎夏期休暇…現行どおり5日以内
- ◎09府人勤における「給料の引下げ」「持家手当廃止」は4月1日以降も実施はしない。
- ◎「勤務時間の短縮」については、現行8時間から7時間45分とし、実質的な拘束時間が短くなる方向で細部や実施時期等について協議する。
- ◎「保育特休」は廃止するが、その時期は「勤務時間の短縮」実施の時期に併せて行う。
- ◎リフレッシュ休暇…来年度から廃止するが、既に対象となった職員の経過措置を設ける。
- 《特殊勤務手当》
- ◎「土砂の崩落又…等の業務」を危険現場作業手当に統合し、日額300円とする。
- ◎社会福祉等業務手当について、児童の虐待対応業務を行った場合、日額550円を加算する。
- ◎部活動等指導業務、対外運動競技等引率業務又は修学旅行等引率業務の手当額の増額改定。



パパ・ママ緊急大集合(1月24日)

府職労は、時短の早期実現に向け、引き続き折衝・交渉を行います。保育休暇廃止の撤回を求めることも、流産や特別産前産後休暇を病欠休暇に改悪したことに伴い、賃金面でのペナルティ、取得手続き上の不利益をなくす方向での府府、対人事委員会へのとりくみをすすめます。また同時に、府民に痛みを押しつけ、自治体の役割を放棄し、大阪府解体、関西州を進める橋下府政の実態を広く府民に知らせ、大阪維新プログラム案の撤回と橋下府政転換のたたかいを引き続き強化するものです。

(K・N)

講演する木津川 計さん



1月8日、府職労は新別館多目的ホールにおいて「新春のつどい」を開催しました。雑誌「上方芸能」発行人の木津川計さんを招き、「大阪の文化を考える」と題した講演を聞きました。つどいには約100人が参加しました。木津川計さんは、「ガラ悪い、下品、騒がしい」等のイメージでいかに大阪が尊敬されていないか、50音でたとえようと京都は「はひふへほ」神戸は「はびぶべぼ」と心地よいのに対し大阪は「はびぶべぼ」など、具体的にいかにおかしくお話し、都市の品格は、文化と密接につながっていることがよくわか

新春のつどい

人材豊かな大阪 文化の街大阪をとりもどそう

府職労は、時短の早期実現に向け、引き続き折衝・交渉を行います。保育休暇廃止の撤回を求めることも、流産や特別産前産後休暇を病欠休暇に改悪したことに伴い、賃金面でのペナルティ、取得手続き上の不利益をなくす方向での府府、対人事委員会へのとりくみをすすめます。また同時に、府民に痛みを押しつけ、自治体の役割を放棄し、大阪府解体、関西州を進める橋下府政の実態を広く府民に知らせ、大阪維新プログラム案の撤回と橋下府政転換のたたかいを引き続き強化するものです。

遊歩道

重力加速度の大きさは、「経度」や「標高」、また言い換えれば場所によって違う。たとえば赤道では、9.779メートル毎秒毎秒と最も小さくなり北極・南極では、9.830メートル毎秒毎秒と最も大きくなる。国際的には「北緯45度の海上の重力加速度の値」として標準重力加速度の値を「g=9.80665メートル毎秒毎秒」と定めている▼標高(高さ)の測量を行うとき基準となるのが「水準点」である。大阪府茨木市にある基準水準点「基21」は、大阪湾における「最低潮位」O.P. = 65.4265メートルとも定められている。以前は毛馬洗堰に「毛馬基準」O.P. = 4.697メートルとして設けられていたが、1946年に起きた南海地震や地盤沈下などにより、基準値が維持できなくなり、現在の場所に移された▼「物事」には、それなりの「基準(ものさし)」、「(普遍的)理由」がある。今回の「特別休暇」、「特殊勤務手当」の提案は、誰もが納得できる「ものさし」と言えるのだろうか。